

特別展

「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」



CONTENTS

- 2021年度 特別展・企画展ラインナップ
- 企画展 市民からのおくりもの2020—令和元年度 新収蔵品を中心に—
- オンラインで楽しむ江戸東京博物館 常設展示室「360°パノラマビュー」のご紹介
- 研究の散歩道 感染症予防をめぐる言説げんせつ

特別展

「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」

4月24日(土)～6月20日(日) 1階特別展示室

当館はこれまで、江戸文化を代表する浮世絵の展覧会を多く実施してきました。このたび初の試みとして、所蔵品のみで特別展「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」を開催します。

本展の主役は、風景画で双璧をなす葛飾北斎(1760～1849)と歌川広重(1797～1858)。それぞれの名品を含む見応えのある展覧会です。

見どころ①

北斎「富嶽三十六景」全46点一挙展示!

見どころ②

実はすごい 江戸博コレクション!

「富嶽三十六景」はわが国を代表する日本美術として、世界の人々から愛されている作品です。2024年度からは、「神奈川沖浪裏」が新千円札の裏面に予定され、私たちにとって、ますます身近な存在になっていくでしょう。

第1章では、北斎20歳代後半から60歳代までの作品の数々をたどりま。第2章は、広重も驚きをもつて見たであろう北斎代表作「富嶽三十六景」。第3章の始まりは、広重が30歳代後半で刊行した「東海道五拾三次之内」シリーズ。自分らしさを出した名所絵により、風景画の中心を担う絵師へと成長していきます。最終章は、北斎没後の広重による富士図をご覧ください。対抗心とあくなき挑戦がうかがえます。

本展の作品・資料は全て当館の所蔵品。「富嶽三十六景」「東海道五拾三次之内」や歌川広重が手元に残した「三保松原図」

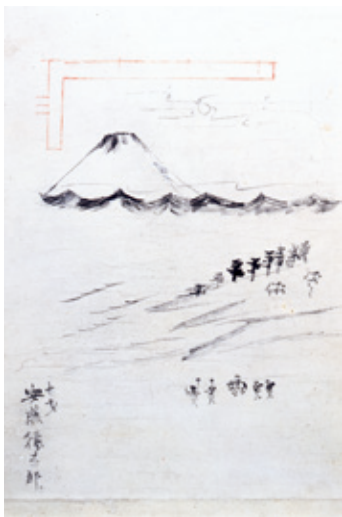
や愛用の煙草入れなどの遺品は貴重です。さらに一堂ではなかなか見る機会がない、けれども浮世絵を語る上で見逃せない作品群をご覧ください。

本展は、北斎と広重、両者の風景画への挑戦を浮き彫りにする試みです。その結実である名作の数々をどうぞお楽しみください。(学芸員 小山周子)

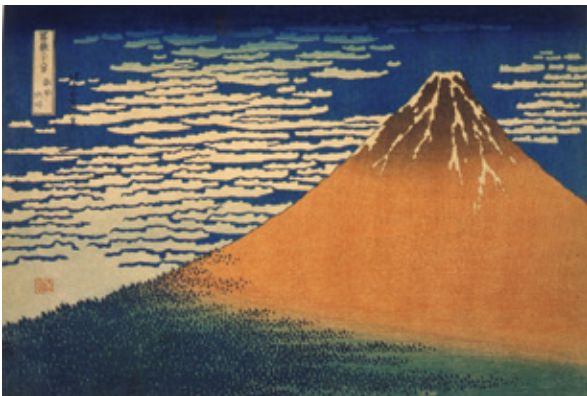
見どころ③

ストーリーで名作を見る、新しい北斎・広重展!

物語の冒頭は、歌川広重こと、安藤徳太郎が10歳で描いた一枚の絵画「三保松原図」から始まります。徳太郎の夢は、上手に絵を描けるようになること。武士の家に生まれましたが、その思いを浮世絵師・歌川豊広に弟子入りして実現していきます。しかし、その前に立ちちはだか



三保松原図
安藤徳太郎(歌川広重)/画
1806年(文化3)
資料番号 91212212



富嶽三十六景 凱風快晴
葛飾北斎/画 1831～33年(天保2～4)頃 資料番号 92202744



東海道五拾三次之内 原朝之富士
歌川広重/画 1834～36年(天保5～7)頃 資料番号 08100014

特別展
「富嶽三十六景への挑戦
北斎と広重」

開館時間：9:30～17:30（土曜日は19:30まで）

※入館は閉館の30分前まで
※開館時間等に変更が生じる場合があります。
最新の情報は江戸東京博物館ホームページで
ご確認ください。

休館日：毎週月曜日（ただし4月26日、5月3日は開館）

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団
東京都江戸東京博物館、朝日新聞社

観覧料（税込）	特別展専用券	特別展・常設展共通券	特別展前売券
一般	1,000円（800円）	1,280円（1,020円）	800円
大学生・専門学校生	800円（640円）	1,020円（810円）	640円
中学生（都外）・高校生・65歳以上	500円（400円）	640円（510円）	400円
小学生・中学生（都内）	500円（400円）	なし	400円

※（ ）内は20名以上の団体料金。

※次の場合は観覧料が無料。未就学児童。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方（2名まで）。

※小学生と都内在住・在学の中学生は、常設展示室観覧料が無料のため、共通券はありません。

※前売券は2021年3月19日（金）～4月23日（金）まで江戸東京博物館チケットラッパで販売。

2021年度 特別展ラインナップ

1階 特別展示室

江戸東京博物館ではオリジナリティあふれる特別展を開催します。

※展覧会名及び会期は変更する場合があります。※③④の展覧会は開催を2020年度から1年延期して実施いたします。

① 国立ベルリン・エジプト博物館所蔵

古代エジプト展 天地創造の神話

開催中～4月4日（日）まで

※詳しくは、前号（江戸博NEWS 111号）1・2頁特別展紹介をご覧ください。

② 「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」

4月24日（土）～6月20日（日）

※前頁の特別展紹介をご覧ください。

③ 「大江戸の華

—— 武家の儀礼と商家の祭 ——

7月10日（土）～9月20日（月・祝）

都市江戸に暮らした武家や商家の儀礼、祭礼、婚姻など、「ハレ」の場面や舞台に注目し、活発にして明るい江戸のすがたを明らかにします。

当館所蔵の逸品や初出品の資料を中心に展示を構成することで、「江戸博コレクション」を紹介。また、華やかな資料を重点的に展示し、わかりやすく、楽しめる内容といたします。



くろぬりうめからくままる さんがいびしんらんしんまき えんらのりもの
黒塗梅唐草丸に三階菱紋散蒔絵女乗物 江戸時代末期 資料番号 97200071

④ 「縄文2021

—— 東京に生きた縄文人 ——

10月9日（土）～12月5日（日）

東京都埋蔵文化財センターと国立歴史民俗博物館の特別協力により、「東京の縄文人」をテーマとした展覧会を開催。縄文時代を生きた人々の「生」の暮らしぶりを伝えます。江戸の暮らしや文化を振り替える礎として、その源流とも言うべき東京の縄文人の生活に焦点をあてます。

これまで江戸東京の様々な暮らしや文化を歴史資料に基づいて復元・再現してきた当館ならではの視点から、縄文時代の出土品が使用されていた生活空間や道具の実際の使用方法などを復元・再現して紹介いたします。



多摩ニュータウンのビーナス（土偶）
多摩ニュータウンNo.471遺跡 縄文時代中期
東京都教育委員会蔵

企画展

市民からのおくりもの2020

— 令和元年度 新収蔵品を中心に —

3月9日(火)～5月9日(日) 前期：3月9日(火)～4月4日(日) 後期：4月6日(火)～5月9日(日)
 常設展示室 5F 企画展示室 ※会期中に展示替えがあります。

当館では、江戸東京の歴史と文化に関する資料を収集し、それらを未来へ伝えるために保存管理しています。また、資料が持つ様々な情報について調査研究を行い、その成果を展示などで公開しています。

本展は、当館が新たに収蔵した資料を、みなさまにご覧いただく機会です。令和元・2年度も多くの資料を当館の収蔵品に加えることができました。資料をご寄贈くださった方々への感謝の意も込めて、この中から厳選して紹介いたします。

8代将軍徳川吉宗が1745年(延享2)に徳川家康百三十回忌の法要を盛大に営んだ時の行列を描いた華麗な絵巻「紅葉山八講法会図巻」、女性の化粧道具を飾る婚礼調度の棚「葵蝶紋鶴亀松竹梅七宝繫蒔絵黒棚」



紅葉山八講法会図巻(部分) 江戸中期 資料番号 1920001 (巻き替あり)



葵蝶紋鶴亀松竹梅七宝繫蒔絵黒棚
 1864年(元治元)頃 資料番号 1920025

棚、勝海舟の父・小吉(1802～1850)が自身の半生を語った貴重な自伝「夢酔独言」、喜多川歌麿が望月5図を描き蔦屋重三郎が1789年(寛政元)に出版した豪華な狂歌絵本「狂月坊」、日本初のオリピック招致活動に際し東京市が

1933年(昭和8)に制作したアルパム「Tokyo Sports Center of the Orient」(東洋のスポーツ中心地東京)など、バラエティー豊かな江戸博コレクションの世界をお楽しみください。
 (学芸員 栗屋朋子)



狂月坊
 喜多川歌麿/画 1789年(寛政元) 資料番号 1920057 (頁替あり)

企画展

発掘された 日本列島 2021

■開催場所

常設展示室内 5F企画展示室

■会期

6月5日(土)～7月4日(日)

■会期中の休館日

6月7日(月)、14日(月)、21日(月)、
28日(月)

■展示内容

- ・新発見考古速報
- ・我がまちが誇る遺跡
- ・特集展示「記念物100年」

■同時開催

地域展「江戸の金箔瓦」

主催

文化庁、東京都、公益財団法人東京都歴史
文化財団、東京都江戸東京博物館、東京新聞、
全国新聞社事業協議会

協力

全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、
全国埋蔵文化財法人連絡協議会、
公益財団法人元興寺文化財研究所、
共同通信社

後援

全国史跡整備市町村協議会

2021年度 企画展ラインナップ

常設展示室内 5F企画展示室

●常設展観覧料でご覧になれます。

※展覧会名及び会期は、変更する場合があります。

① 市民からのおくりもの2020

— 令和元年度新収蔵品を中心に —

3月9日(火)～5月9日(日)

② 発掘された日本列島2021

地域展「江戸の金箔瓦」

6月5日(土)～7月4日(日)

③ 相撲の錦絵と江戸文化

7月17日(土)～9月5日(日)

④ 江戸東京通史

9月18日(土)～12月5日(日)

⑤ 徳川宗家2021

2022年

1月2日(日)～3月6日(日)

展示事業係から

オンラインで楽しむ

江戸東京博物館 常設展示室

「360°パノラマビュー」のご紹介

収束の見えない昨今の新型コロナウイルスの状況に伴い、美術館や博物館から足が遠のいている方が少なくありません。そうした中で、全国・全世界の美術館博物館が、急速にオンラインでのサービスを展開しています。当館でも、特別展や常設展示の解説動画の配信をはじめとするオンラインサービスを用意しています。

とりわけご利用いただきたいのが、2018年(平成30)から公開している、常設展示室「360°パノラマビュー」。あたかも展示室内に足を運び、歩き回っている感覚をお楽しみいただけます。なんといつでも、展示室でさえ得られない、模型の中を歩き回る感覚を味わえることが、一押しのポイントです。小型カメラを駆使した懸命な撮影により、模型の中の人形たちに交じって江戸の街歩きをする感覚を実現しました。常設展示室に訪れたことのある方にも是非、来館時とは一味違う鑑賞を体験していただきたいです。

「360°パノラマビュー」はこちら



(学芸員 春木晶子)



常設展示室「360°パノラマビュー」で見る両国橋西詰模型
両国広小路を歩く人々の仕草や屋台のなかの様子までご覧いただけます。

感染症予防をめぐる言説げんせつ

学芸員
菅井薫・文

昨年から、私たちの生活に最も影響を与えているのが、新型コロナウイルス感染症の流行である。疑うことのなかった価値観は日々揺さぶられ、生活様式の転換を否応なく迫られた。

今も昔も人の価値観や生活様式に影響を与える要因の一つが、社会の中にあふれるメディアである。感染症法の原点ともされる「虎列刺病予防法心得」(以下、「心得」と略す)が公布された明治10年代に立ち返って、当時のメディア(情報伝達手段としての錦絵や書物)ともいえる資料の一端を見てい

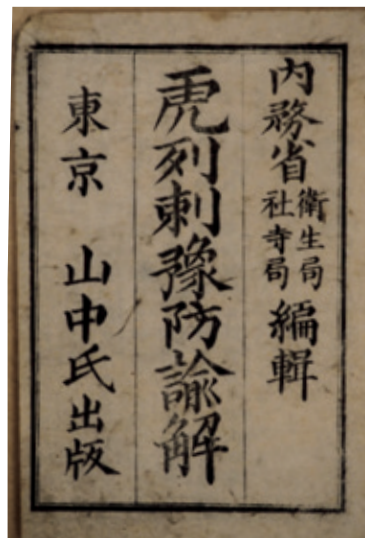
う。誰が、どのような言説(表現)を用いて、感染予防のメッセージを伝えたのだろうか。1つ目は、消毒薬の使い方を普及するために刷られたであろう錦絵で



資料1
内務省衛生局御達略 虎列刺病予防方法
歌川国明/画 1877年(明治10) 資料番号 97200474・97200475

ある(資料1)。コレラの病に臥せった女性の様子が描かれていますが、その上は隙間なく細かな文字で埋められ、挿画としての役割を果たしている。上述の「心得」に記されている消毒薬の用法が引用されており、一般民衆の実用に供する以上に専門的な内容に特化している。具体的には、消毒にどのような薬品を用い、何をどのような方法で消毒する必要があるのか、事細かに記述されている。

2つ目は、コレラ予防のわかりやすい解説書「虎列刺病予防論解」(資料2)である。編集には、内務省衛生局だけでなく、社寺局が加わっている。理由は、感染症対策には、民衆の理解と予防が不可欠で、神官や僧侶といった教導職に啓蒙活動を担わせるからだ。内容において着目すべきは、感染症の原因に「他人との交通」



資料2
虎列刺病予防論解
内務省衛生局社寺局/編
1880年(明治13) 資料番号 87103145

が挙げられている点だ。多くの人が集まる場所では、適宜、外に出て新鮮な空気を吸うこと、飲食を控えるにすることが求められている。その他にも、人力車夫に対して1日10里(約39km)以上の道を走るとは体に害であること、女性や子供には度を過ぎた労働を控えて滋養品を用いることを勧められている。

基本的な予防法は現代とも相通じるものがあり、その時代に即したメッセージの発信者が存在していたことが見て取れる。今となつては自明となった考え方も、過去と比較対照することで、それがなぜ成立したのかを気づかせてくれる。

「景品貯金箱 ギリシヤのボクちゃん」

高度経済成長期、国内の銀行は個人預金の獲得につとめ、ロゴや制服を刷新するなどイメージ向上に励みました。各行は競って独自のマスコットキャラクターを展開し、ソフトビニール製の貯金箱を製作して景品にしました。

そのなかで富士銀行（現株式会社みずほ銀行）の「ボクちゃん」は、誕生の来歴が知られる数少ない存在です。同行の『富士銀行の百年』（1985年発行）は、1962年（昭和37）当時の広報担当者、暮れのボーナスに向けた企画に悩む担当者、自宅で1歳になりたてのお子さんを見ていた時、子供をキャラクターにした人形の貯金箱を着想したとあります。回想は、デザイナーと葛飾支店の取引先のプラスチックメーカーにお願いし、2か月で製作したと続きます。製作者は不明ながら、東京に由来するものであることもわかります。

1962年11月に初登場した「ボクちゃん」は、半年ごとに世界各地の民族衣

装姿であらわれ人気を得、1969年（昭和44）まで16種が配布されました。当館では現在13種をご寄贈いただいております。

写真は1964年（昭和39）の6月に登場した「ギリシヤのボクちゃん」、五輪直前の雰囲気伝わります。この時には例外的に「東京オリンピックのボクちゃん」と二種類が登場しました。しかし、日本選手団公式ユニフォームの赤いブレザーと白いスラックスでハットを手にした、七三分けの「ボクちゃん」は、古代ギリシヤの民族衣装姿と比較すると地味に見えてしまったのでしょうか。こちらは收藏できておりません。

（学芸員 新田太郎）



景品貯金箱 ギリシヤのボクちゃん
1964年（昭和39）6月
株式会社富士銀行／配布
資料番号 97001330



図書室から お知らせ

図書室の仕事 Vol. 4

請求記号ラベルには いろいろある?!

図書館にある本の背には、本を棚に並べる際の「住所」となる「請求記号ラベル」が貼られています。通常、1段目は分野を表す分類記号、2段目以降は本を受入れた順番や巻数、発行年などを表示しますが、江戸東京博物館の図書室では、博物館や各地域から収集した刊行物に限り、独自のラベル表記を使用しています。まず1段目は、発行元の博物館の所在地域を表します。これは分野ではなく地域で分類しているためです。写真を例に説明しますと、「M」はミュージアムを表し、4桁の数字は頭の2桁が都道府県、下2桁が市区町村を表します。

2段目は、「博物館名」と「当室で登録した順番」を表します。記号の付け方は館名の頭文字と、1段目で示した地域で、その頭文字が付く博物館として何番目に登録した館なのかを表します。これは当室独自の「館記号」で、収集元のすべての博物館に付いています。

3段目は、2段目で示された博物館から収集した刊行物の順番と巻数を表します。このように、請求記号は図書館独自の表記をするものがあります。図書館を訪れた際には請求記号ラベルを見比べてみてはいかがでしょうか。



当館の刊行物の請求記号ラベル。1段目の「3624」は東京都墨田区を表し、2段目の「TO-3」は、区内で頭文字に「TO」が付く館で3番目に登録した館が、東京都江戸東京博物館であることを表します。



3期ポスターイメージ

特別展「ぬくもりと希望の空間」

大銭湯展3期

開催中：5月30日(日)まで

※会期は変更になる場合があります。
詳しくはホームページをご確認ください。

日本で江戸時代に発達した銭湯は、江戸で人々の憩いの場として広まり、明治・大正・昭和の東京で、欠くことのできない施設としてくらしに根付きました。そして、時代とともにその姿を変えながら、今日まで存在しています。

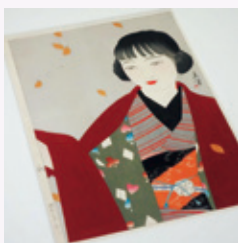
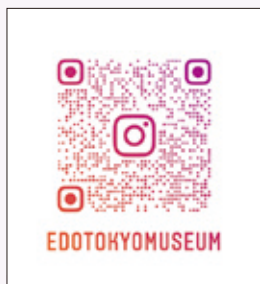
そんな銭湯の歴史を全4期にわたってご紹介する本展は、昨年6月の開会から1期、2期と会場レイアウトや展示資料を変えながら、現在は3期を開催中です。展示室には、江戸時代の銭湯経営に関わる文書から昭和の銭湯用品、現代の銭湯アプリの二次元コードまで、年代も形態も様々な資料を展示しておりますが、今期は銭湯の脱衣場に飾られていた「ガラス絵」を初公開します。

平成、令和へと時代が移り変わるなか、銭湯は年々数を減らしながらも人と人が交流する場として、私たちにぬくもりと希望をもたらし続けています。日ごころ銭湯に親しんでいる方も、そうでない方にも、銭湯の魅力を感じていただける展覧会となれば幸いです。

(学芸員 小林愛恵)

Instagramで楽しむ江戸東京博物館

当館公式Instagramでは、選りすぐりの写真を随時アップしています。
ぜひフォローしてください!



当館施設のご案内 —大・小ホール 会議室 学習室—

当館1階にあるホール、会議室、学習室は、当館の各種事業で利用しているほか、一般の方々へ貸出もしています。

大ホール・小ホールは、伝統芸能の公演や発表会などに、会議室・学習室は、舞台稽古、ワークショップなど多種多様な用途にもご使用いただけます。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間には、当館の事業として、伝統芸能の素晴らしさをお子様から大人まで分かりやすく楽しみながら体験できる公演を開催する予定です。

詳細は、決まり次第ホームページに掲載いたします。

大ホール

貸出施設の詳しいご案内はホームページをご確認ください。

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/purpose/room-rental>



江戸東京博物館 NEWS vol.112

お問い合わせ 03-3626-9974 (代表)

ホームページ <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

来館のご案内 JR総武線「両国駅」西口から徒歩3分
都営地下鉄大江戸線「両国駅(江戸東京博物館前)」A3・A4出口から徒歩1分
都バス錦27・両28・門33系統 墨田区内循環バス南部ルート「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

発行日 2021年3月12日(金)

編集・発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
〒130-0015 東京都墨田区横綱1-4-1

制作・印刷 株式会社D_CODE



表紙解説

「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」

葛飾北斎/画 1831~33年(天保2~4)頃
資料番号 92202743

葛飾北斎の代表作「富嶽三十六景」のなかの最も有名な一図。江戸湾から富士山を望み、せり上がる大波は生きていくかのように襲いかかり、奥に悠然と見える富士山と、「動」と「静」の対比が見事に表現される。2024年度に発行の新千円札の裏面に予定されるなど、本図をめぐるエピソードが現代でも生まれており、その魅力を高めている。(学芸員 小山周子)

